

栃木県真岡市にあります、
にのみや認定こども園様から
ホームページリニューアルの
ご案内メールが届きました。
実際に見てみると、発信者
側が伝えたいことをただ発信
していくのではなく、閲覧者
が参画しやすいようと、
トップページにクイズ形式で
問題意識を投げかけるような
工夫がされていました。園長
に背景をお聞きしてみると
「ホームページにたどり着い
た瞬間に興味を引き出せるよ
うにしたい」と、そんな目的的

性を奪い、かえつて伝えたいことが伝わらなくなることもあるかもしれません。そもそも相手に主体的になることを求めるのではなく、人は最初から主体的なのだから、むしろそれを邪魔している環境があるのではないかと省みる視点を持つことの大切さを、今回の園様の取り組みから学ばせていただきました。

です。その結果、今回は動画の中の一部を使うことに決め、まずは「一人ひとりの発達段階に沿った保育とはなにか」ということを職員全員で体験できるよう研修内容を考えたと言います。理由をお聞きすると、今の自分たちには「一人ひとりの発達段階に沿った保育」について重点的に共通理解を図ることが大事だと思っていたので、そこに時間と意識を使えるよう内容を絞りたかったからだと仰ります。また、ワークショットプ

されたのだそうです。
子どもたちの保育と同じように、選択することが出来る環境の中で、主体的に自ら研修を組み立てていった先生方の姿から、園様の目指す保育の姿が感じられました。

(※)『ミマモリングソフトウェア』のワークショウブ動画をご希望の方は、弊社までお問い合わせください。



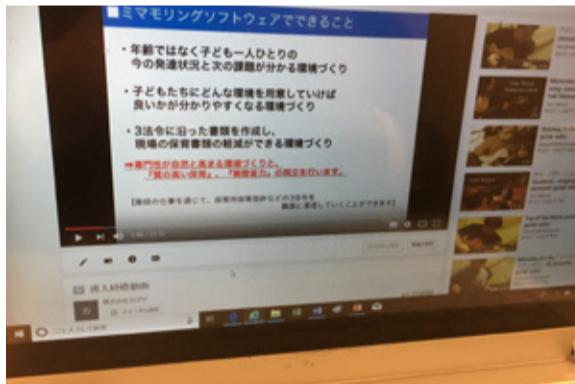
情報を受け取る対象が主体的になれる環境のヒントが、各園様の実践にあることを改めて感じます。

主体性を邪魔しない 環境とは

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階

第113版

理念と実践で
絆を結びます



『ミマモリングソフトウェア』のワークショップ動画です。

研修の環境作り

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念のもとに活動しているカグヤクルーの日々の出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願いいたします。



誰かの疑問に講師が答え、それを参加者が聴いている、
そのような形式ではなかなか当事者意識は生まれません。
誰かの疑問を自分事のように考え、討議し、自分なりの
答えを導こうとする今回のようなプロセスの中にこそ、
本来の学びと、リーダーとしての本質があるようになります。

この研修では、各園の先生方が自分たちでその悩みを解決できるようになると、2日間に渡つてグループ討議の時間が設けられています。

今回も、例えばあるグループからは、「大人都合ではなく子ども主体の午睡にするための考え方や工夫はありますか」という質問が全体に投げかけられ、その悩みに対しても

正解のない保育という世界だからこそ、誰かの出す答えに追従するのではなく、このように衆知を集めていくというプロセスの中に、今回も保育の深まりが見られたよう思います。

リーアンク主催の『見守る保育リーダー研修』は、各園のリーダーの先生方が園での課題や様々な問題を「リーダー」という立場からどう解決していくべき良いのかを探っていくセミナーです。

この研修では、各園の先生方が自分たちでその悩みを解決できるようにと、2日間に渡つてグループ討議の時間が

挙げられた質問について当事者のように共感され、自分として熱心に話し合われている姿が見られたのは、やはり保育理念が一緒の仲間同士だからこそだと感じられました。

カグヤクループログも
毎日元気に配信中！

カグヤウェブサイト



www.scholarship.org

「聴福庵」の情報はFacebookで

CCN

CAGUYA COMPANY NEWS

カグヤニュース

相手主体の形づくり

最近は、私たちカグヤが園で研修した内容を、園の先生方が後から園内で自分たちでもできるよう、研修資料を見直しています。なるべくシンプルに分かりやすくなるよう資料について「説明スライドではなく、実際の様子を動画にした方が雰囲気や進行のポイントが伝わりやすいのではないか」と改善案が出たので、早速社内で取り組む様子を動画撮影＆編集し形にしてみることに。

形づくりは少し手間がかかるもの



今後も先生方が主体となる環境を考えていきたいと思います！

の、動画にすることで、より分かりやすい資料へと変化することを感じます。何より、相手が相手のタイミングで行えるための環境づくりは、「環境を通して子どもの発達を保障していく」ことと同じであり、それは自立を促す取り組みでもあるのだと実感しました。

カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。

感謝と共に暮らす



祝詞からこの1年が思い出され、喜びもひとしおです！

な時間はとても幸せだったのだろうなあ」と実感しました。

お米づくりにどんどん携わることで、お米や自然の1年の流れは勿論、このように節目節目で五穀豊穣の祈りや祝いを重ねてきた農耕儀礼も合はせてやってみると、知識だけではなく感覚でも、日本人の原点に触れてもらっている感じがします。

今年から始まった千葉の藤崎農場様にあるカグヤの「むかしの田んぼ」では、この秋に無事に実った新米とその炊き立てご飯などをお供えし、地元の宮司さんに来ていただいて収穫を祝い感謝するお祭りを行いました。

また直会（なおらい）で、新米など皆で楽しくおいしくいただきながらこの1年を振り返る中で、昔から新嘗祭（にいなめさい）といつた行事もあるとおり、「いつの時代もこんな風にお米づくりや行事を重ねた日本人の原点を思い出し、子どもたちへと繋いでいけたらと思います。

まだまだ新鮮な感覚も多く、体に馴染んでいるわけではありませんが、こんな風にお米づくりや行事を重ねた日本人の原点を思い出し、子どもたちへと繋いでいけたらと思います。

クルー全員が編集に関する知識がほぼない状態でスタートしているため、様々な方の手を借り試行錯誤のもと発刊に辿り着いています。そもそも記事が書けるのはいつも早く掲載を承諾して下さるお客様あってのことですし、編集の基本をイチから教えて下さるカグヤのデザイナーさんの存在もあります。記事の内容はもちろん、より読み

人類の協力の証

先日、私の人生の半分を共に歩んでこられた恩師の藤森平司先生の古希祝いと「保育の起源」出版記念会が行われました。全国各地から250名を超える人たちが東京まで駆けつけてくださり無事に大盛況のままに終了しました。これだけ多くの方々から尊敬され、慕われる恩師を拝見して改めて有難い御縁と尊敬の念が込みあげました。

恩師のスピーチでは「人は一人で生きていけない、必ず集団の中で人類は育児をする。そのことで人類は生き延びてこれた。」という智慧の話がありました。私も持続可能な社会の実現や人類の平和、子孫の永遠の繁栄を願うからこそ恩師の「見守る保育」という言葉を信じてここまでやつて来れました。その恩師に古希祝いの贈り物として私たちから「貝の首飾り」をお贈りしました。これは古代の人類が貝を糸のお守りに

毎月お届けしているこの竹取新聞は、クルー全員が編集に関する知識がほぼない状態でスタートしているため、様々な方の手を借り試行錯誤のもと発刊に辿り着いています。そもそも記事が書けるのはいつも早く掲載を承諾して下さるお客様あってのことですし、編集の基本をイチから教えて下さるカグヤのデザイナーさんの存在もあります。記事の内容はもちろん、より読み

一期一会庵

一期一会庵

かつて貝は財宝であり宝そのものでした。そして貝は中のいのちを守ることを参考にしたものでした。



納得いくまで何度も校正会を行なうため、修正だらけで紙面は毎回真っ赤に！記事選定から始まり印刷が出来上がるまで、ほぼ1ヶ月かけて完成させています。

縁の下の力持ち

やすい配置やフォントなど、見せ方の面でもレクチャーをして下さるので、違いが分からぬ私たちは何度も同じ間違いを…。それでも根気強くお付き合い下さる『縁の下の力持ち』の

お陰で今月も無事に発刊を迎えます。全ての方に、ありがとうございます！

今年も一年、竹取新聞をご覧いただきましてありがとうございました。来年も素晴らしい年でありますように心よりお祈り申し上げます。お体に気をつけて善き年をお迎えください。

〔編集後記〕

保育は人類の協力の証でもありますから、貝に願いを籠めたようにこれからも私たちは同じ志の仲間と共に初志貫徹していきたいと思います。

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます